事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 10 月 8 日 作成

事務事業名	道路維持補修事業	☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連

総合計画体系			所属部	都市建設部	課長名	上原哲也
政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり	所属課	建設課	担当者名	高来 登
施策	3	交通安全対策の推進	所属班	管理計画班	（内線）	2271
基本事業	10	交通安全施設の整備	法令根拠			

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	☐ 20年度で終了 ☐ 21年度から開始	成果優先度評価結果	3
	1	8	2	2	10043		コスト削減優先度評価結果	7

事業期間 ☐ 単年度のみ ☑ 単年度繰返（開始年度 年度） ☐ 期間限定複数年度 （ ～ 年度）

事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】
道路維持管理に必要な経常的総務事業
【業務の流れ】
現場確認、材料の購入、補修作業、支払い
【主な予算費目】
報酬（路線作業補助員）、需用費（消耗品費、修繕費、燃料費）、役務費、原材料費、公課費

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）
20年度実績（20年度に行った主な活動）（DO）
現地確認、材料の購入、補修作業、支払い

21年度計画（21年度に計画している主な活動）（PLAN）
前年度同様

⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）＝①の指標 （単位）
⇒ ア 路線作業員数 人
イ

② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等
市道

⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）＝②の指標 （単位）
⇒ ア 路線数 本
イ

③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）
道路等の維持（補修等）を行うことにより、安全な道路の通行を確保する。

⑦成果指標（意図の達成度を表す指標）＝③の指標 （単位）
⇒ ア 補修件数 件
イ

④ 上位の目的（さらにどんな目的に結び付けるのか）
事故誘発の要因とならない道路となっている。

⑧上位成果指標（上位目的の達成度を表す指標）＝④の指標 （単位）
⇒ ア 設置箇所数/地区からの要望箇所の内、必要と判断された箇所数×100 %
イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度
投入量 事業費 財源内訳	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円					11,288	11,288		
	地方債	千円								
	その他	千円				702				
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	1,530	5,371	9,265	8,427	9,246	9,246	9,246	
	（A）事業費計	千円	1,530	5,371	9,265	9,129	20,534	20,534	9,246	0
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	13	10	10	10	
	延べ業務時間	時間	1,600	1,600	1,600	2,702	2,700	2,700	2,700	
	(B)人件費計	千円	6,352	6,368	6,368	10,754	10,746	10,746	10,746	0
トータルコスト(A)＋(B)		千円	7,882	11,739	15,633	19,883	31,280	31,280	19,992	0

（期間限定複数年度のみ記載）総トータルコスト

		単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	総合計画
活動指標	ア	人	3	3	6	6	6	6	6	
	イ									
対象指標	ア	本	924	928	939	939	950	960		
	イ									
成果指標	ア	件	180	185	180	180	180	180	180	
	イ									
上位成果指標	ア	%	90	92.5	92	80	93	95		95
	イ									

目標数値 22年度

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
道路維持管理を放置すれば、事故誘発の要因となるため、道路新設または寄付により市にて道路を管理した時からその道路の管理を行う。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
市内の道路舗装率が向上する中、舗装の耐用年数は10年と考えられており、補修箇所も年々増加傾向にある。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？
住民からは早急な対応を求められる。

合志市

事務事業名	道路維持補修事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課

2　評価の部(SEE)＊原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 結びついている ⇒【理由】 **道路等の維持管理を行い、安全な通行を確保することによって、事故誘発の要因とならない道路になることに結びつく。**
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 妥当である ⇒【理由】 **道路所有者として、維持管理を行うことは義務であり、放置の状態であるなら、事故誘発の要因となり、管理瑕疵責任となる。**
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 適切である ⇒【理由】 **対象、意図とも現状で適切である。**
有効性評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 向上余地がない ⇒【理由】 **維持管理事業は、達成状態を維持するものであるため。**
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ☑ 影響有 ⇒【その内容】 **維持管理事業は、達成状態を維持するものであるため。**
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには，この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段，事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 **他に類似事業がない。** ☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 削減余地がない ⇒【理由】 **毎年単価契約をおこなっており、削減余地はない。**
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 削減余地がない ⇒【理由】 **現在正職員以外の職員にて定期的に市内巡回を行ってもらっており、削減の余地はない。**
公平性評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 ☑ 公平・公正である ⇒【理由】 **すべての道路利用者に公平・公正である。**

3　評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果

① 目的妥当性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
② 有効性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
③ 効率性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
④ 公平性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

①目的妥当性については、･･･。
②有効性については、･･･。
③効率性については、･･･。
④公平性については、･･･。

4　今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)･･･複数選択可

☐ 廃止　☐ 休止　☐ 目的再設定　☐ 事業統廃合・連携　☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
☐ 事業のやり方改善(効率性改善)　☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
☑ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革，改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5　事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	4	(直結度高い 1～3 直結度中 4～6 直結度低い 7～9)
(2)貢献度	10	(貢献度高い 1～3 貢献度中 4～9 貢献度低い 10～12)

合志市